

甲斐市観光巡回バス

～春間近、香る梅花と文化・芸術を楽しむ一日～

運賃無料

平成24年2月4日(土)～3月20日(水・祝)
土日祝日運行

＜ご案内＞

今回の観光巡回バスは、2月中旬から見ごろを迎える梅の里へご案内します。

1,000本を超える梅の花が一面に広がる景色をぜひお楽しみください。

また、ワイナリー・芸術の森も巡りますので、お気に入りの場所を探してみてください。

＜ご注意＞

2月26日(日)は、「甲斐梅の里クロスカントリー大会」のため、1便・2便を運休します。

＜予告＞

3月下旬・4月上旬には「市内の桜」にスポットをあてたコースを予定しています。

甲斐市観光巡回バス時刻表(平成24年2月4日～3月20日)

停留所名	竜王駅(南口)	梅の里(敷島総合公園)	クラインガルテン	敷島ワイナリー	サンクトロリー 登美の丘 ワイナリー		双葉農の駅・百楽泉	シャトルレーゼ ベルフォールレワイナリー	竜王駅(南口)	芸術の森	竜王駅(南口)
					ワイン醸造所	ワインガーデン					
1便	9:30	9:40	9:50	10:05	10:30	10:36	10:46	10:51	11:11	11:18	11:25
2便	10:30	10:40	10:50	11:05	11:30	11:36	11:46	11:51	12:11	12:18	12:25
3便	11:50	12:00	12:10	12:25	12:50	12:56	13:06	13:11	13:31	13:38	13:45
4便	12:50	13:00	13:10	13:25	13:50	13:56	14:06	14:11	14:31	14:38	14:45
5便	14:10	14:20	14:30	14:45	15:10	15:16	15:26	15:31	15:51	15:58	16:05
6便	15:10	15:20	15:30	15:45	16:10	16:16	16:26	16:31	16:51	16:58	17:05



今回の観光巡回バスは、梅の里、ワイナリー・芸術の森へご案内します。

●梅の里（敷島総合公園）

2月中旬～3月上旬には、敷島総合公園南側の梅園・矢木羽湖隣の梅畑を合わせ、1,000本を超える梅が見ごろを迎えます。観賞用の鮮やかな花や、甲州小梅の淡い色など、様々な色合いが出迎えてくれます。

●甲斐敷島梅の里

クラインガルテンクラブハウス

滞在型体験農業施設クラインガルテンの中心的施設。毎週水・土・日曜日には、午前9時から朝市が開催され、周辺農家などの農産物が並んでいます。

●敷島ワイナリー（敷島醸造）

昭和60年に誕生した比較的新しいワイナリーで、地域に密着した家庭的な雰囲気醸造所。自家農園の葡萄を使ったまさに手作りのワイン。葡萄園から眺める甲府盆地と富士山の風景もすばらしいです。

●サントリー登美の丘ワイナリー

開館時間 午前9時30分～午後4時40分

葡萄づくり100年を迎えた、甲斐市の中では最も古いワイナリー。世界に通用する自家葡萄園で育ててきたワインを誕生させており、以前は栽培技術者養成の専門学校を併設していた歴史もあります。

停留所は、ワイン醸造所とワインガーデンの前の2箇所にあります。

ワイン・ワイングッズの販売、有料テイスティング・無料試飲あり。レストランあり。ぶどう畑見学ツアーの受付も行っています。

【ご注意】

12月19日（月）～1月11日（水）は休館となっています。この期間は、バスも巡回しませんのでご注意ください。

●双葉農の駅・百楽泉（市営温泉）

「双葉農の駅」は、近隣農家からの新鮮な農産物が並ぶ直売所。直接農家から届くため値段も安く、品質も保証済み。食事コーナーではふるさとの味が堪能できます。

季節ごとの旬の野菜の豊かな味わいを楽しんではいかがでしょうか。

「百楽泉」は、気泡湯・寝湯など7種類が楽しめて、女性用のミストサウナも人気の温泉です。

のどかな田園の中、南アルプス、八ヶ岳、そして富士山と360°の絶景を眺めながら、ゆったりくつろぎのひとつときをお過ごしください。

●シャトレーゼベルフォーレワイナリー

開館時間 午前9時～午後5時

ボトルワインについては、一部を除き加熱殺菌の行程をとらない「生製法」（コールドボトリング製法）で製造しています。また、加熱処理やろ過をしていない「樽出し生ワイン」はみなさんの目の前で瓶詰めをしてくれ、専用ボトルを初回に購入すれば、繰り返し使用できます。

敷地内では、ワインに合うオリジナルケーキやチーズの試食、販売もしています。

「シャトレーゼローマンガラス美術館」（入館料500円）ではローマ時代に作られたガラス製品などを見ることができます。

●山梨県立美術館（入館は午後4時30分まで）

【常設展示】

山梨県立美術館は1978年の開館以来、「ミレーの美術館」として広く親しまれています。最初のコレクションであるミレーの《種をまく人》を中心として、以後ミレーやバルビゾン派の作家、ヨーロッパの主要な風景画家、ならびに日本の近現代美術の収集に力を注いでいます。

なかでも山梨ゆかりの作品と、「萩原英雄コレクション」「深沢幸雄コレクション」がその中心といえます。収蔵品の総点数は現在、約1万点にもおよびます。

所蔵品を紹介する常設展示では、季節に合わせて年4回の展示替えを行い、「ミレー館」「常設展示室」「萩原英雄記念室」の3室をご覧ください。

●山梨県立文学館（入館は午後4時30分まで）

【閲覧室 資料紹介】

芥川賞・直木賞と山梨の作家たち

期間：平成23年12月15日（木）～

平成24年4月15日（日）

芥川賞と直木賞は、昭和10（1935）年に制定され、今日までの長い歴史を持つ文学賞です。山梨県出身作家では、芥川賞を昭和19（1944）年に小尾十三が「登攀」で、直木賞を昭和12（1937）年に木々高太郎が「人生の阿呆」で初めて受賞しました。

山梨県立文学館で所蔵する図書や雑誌から、山梨県出身・ゆかりの作家の受賞作品や候補作品、関連資料を紹介します。資料は手にとってご覧いただけます。

【観光巡回バスからのお知らせ】

平成24年4月から運行日程が変わります。

これまで、毎週の土日祝日に運行していましたが、4月からは、観光資源の旬に合わせ、運行日を限定します。

詳しい運行日程は、市の広報誌やホームページに掲載いたしますので、ご確認ください。

甲斐市ホームページ

<http://www.city.kai.yamanashi.jp/>